

「感性をはぐくむ」

人間の感性が成長するか否かは、人との出会いによる。出会いは、私たちが後天的に獲得する財産である。一生懸命働けば、いくばくかの財は築くであろう。しかし人との出会いからはどれほど多くの無形の財産を得るだろうか。

(いのちの言葉 日野原 重明より)

銀杏の葉も色付き、秋も深まってきました。子どもたちは紅葉した木々を見たり落ちているどんぐりや葉を目をキラキラと輝かせ拾い、自然に触れながら季節の移り変わりを感じています。季節の変化や事象に気づき、木の実や種など様々な素材を使い、自ら考えたことや感じたままに製作活動を通し表現することもあります。また、友だちへの興味や関心も高まり、真似っこを楽しむことも多くなっています。共通の遊びの中で一緒に工夫したり、協力することで喜びを共有する姿も見られるようになってきました。

私たちは、生きていく中で様々な人との出会いがあります。気の合う友だちもいれば、時として嫌な思いをして別れる人もいるかもしれません。しかし、どんな人からも学ぶべきことや気付かされることがあります。考え方や価値観が違っていても、新しいものの見方に気付くきっかけになったり、新しい刺激を受けることで今までとは違うことに興味を持ったり、話を聞くことで世界が広がっていくこともあります。受け止める心の在り方や行動により、価値のあるものへとなっていきます。また、気持ちが弱くなっていたり進むべき道に思い悩んだ時に、そばで寄り添ってくれる、近くに居なくても背中を押してくれる存在や言葉が思い起こされることは、自分を支えてくれる大きな財産となるのではないのでしょうか。

人との繋がりを大切に、感謝することができる心が持てるよう、また良いところを見付け違いを認め、自分も友だちも大事にできるような人になって欲しいと願いながら、豊かな心を育てていきたいと思えます。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

2019年度 年主題

【ことばに満たされて～ひびきあう～】

2019年度 年主題聖句

【その人は流れのほとりに植えられた木。】

詩編 1編 3節

【 11月聖句 】

同じ愛を抱き、心を合わせ、思いを一つにして

フィリピの信徒への手紙 2章 2節

【 11月主題 】

「ためす」

0歳

- ・保育者と共に神さまにありがとうと祈る
- ・いろいろなことに興味をもち、ためす
- ・木の実や落ち葉に触れ、深まりゆく秋を感じる
- ・絵本の中のことばの繰り返しを楽しむ

1、2歳

- ・神さまからたくさんのもをいただいていることを感謝する
- ・友だちとの遊びの中で主張したり、思いをことばで伝える
- ・遊びが深まり、興味をもったことをためしてみる



【11月の讃美歌】

おいしいおいしくだもの



【10月のうた】

いもほりのうた
たきび
おおきなくりの
きのしたで

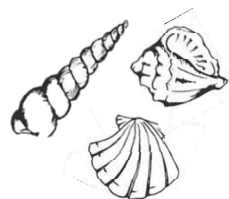
11月の予定表

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3 文化の日
4 振替休日	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15 身体測定	16	17
18	19	20 避難訓練	21	22	23 勤労感謝の日	24
25	26	27	28	29 クレイシュ通信	30	
備考						

【 お願いとお知らせ 】

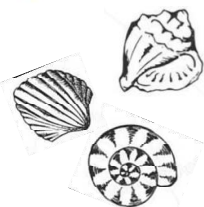
・持ち物の名前が薄くなってしまっているものがあるため、再度確認を宜しくお願い致します。

0歳児 mer(海) 組の子どもたちの姿～



肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、晩秋の気配が感じられるようになりました。先日行われた運動会では、ご協力ありがとうございました。初めての運動会に、いつもと変わらずニコニコと笑みを浮かべている子もいれば、少し緊張した様子の子など様々でしたが、親子競技では慣れない環境の中でお父さんお母さんと一緒に頑張る姿が見られました、マットでの山登りでは、名前を呼ばれるとハイハイで山を越え、並べられたフルーツを選ぶと大きな画用紙に自由に貼って行く姿が見られました。最近では、指先を使った遊びを楽しんだり、歩行が始まりより運動量が増えたりといった姿を見ている中で、競技を通して子どもたちの成長を感じることができ、大きな喜びとなっています。その成長を一つひとつ支えていきたいと思っています。

また、遊びの中では、寝転がって遊ぶ友だちに近付いて、ポンポンとお腹を触ったり、年上の友だちと柱の隙間から顔を覗かせあって「ばぁー」と笑い合ったりする姿が見られます。声を上げて気持ちを表現したり、会話をするように向かい合って声を発することも多くなりました。友だちの存在を意識しながら、より遊びを楽しめるよう仲立ちし、また気持ちを受け止めて、発語への意欲も育てていきたいと思っています。



1歳児 terre(大地)組の子どもたちの姿～

肌に触れる風も少しずつ冷たくなり、晩秋の気配が感じられるようになりました。

先日行われた聖愛会3園合同での運動会。最初はたくさんいる友だちや保護者の中で緊張した様子でお母さんやお父さんの服をぎゅっと持ち、不安な表情を見せていました。クレイシュ保育園の友だちと顔を合わせると安心した様子でした。保護者と一緒に入場をし、いよいよ開会式。『からだ☆ダンダン』が流れると身体を揺らしたり、立ち上がってリズムをとる子もいました。その後の親子競技では、保護者と力を合わせてサイドカーを引っ張りながらトンネルを慎重にくり抜けたり、ガソリンを補給しカートへ乗りしっかりと両手で身体を支え見事に全員ゴールすることが出来ました。常日頃はもとより行事へのご協力ありがとうございました。10月31日には、ハロウィンパーティーを開催しました。新聞紙で作った自分よりも大きなかぼちゃを目の前に「わぁ」と驚いていました。オレンジ色の紙をみんなでちぎりその紙に両手たっぶりののりを塗ったりかぼちゃに直接広げ感触を楽しんでいました。手にのりがなくなると自ら付け足す姿も見られました。服や手足が汚れることも気にせず夢中になっていました。

これから少しずつ寒くなる日が多くなり、体調を崩しやすくなりますが手洗いうがいを行い予防を行っていききたいと思います。

2歳児 ciel(空) 組の子どもたちの姿～

風も少しずつ冷たくなり、周りの木々も赤や黄色に色付いてきました。

先月行われた運動会へのご参加、ご協力ありがとうございました。入園してから心身の成長と共に、様々な運動遊びやリズム遊びなどを通し、随分と足腰が丈夫になってきました。また、走る、両足ジャンプ、ボールを投げるなど多くの動きも毎日のワクワクできる遊びの中で培われたものだと思います。運動会のために特別な何かを行うのではなく、日々の保育の中でダンボールバスやかけっこ、トンネルくぐり、サーキット遊びなどを行い身体を動かす楽しさを知り、友だちと一緒に協力することで思いやりの気持ちも育まれてきました。その一人ひとりの成長を、さらに感じることでできる機会だったのではないかと思います。また、子どもたちにとって保護者の方が見守ってくださることは、何よりも嬉しかったようです。

運動会が終わった今も「バスに乗りたい!」「トンネルで遊びたい!」と楽しみながら「乗りますか?」と誘ったり、小さい子を車に乗せて「つかまってください」「出発しますよ」と押してあげたりしながら、次第にごっこ遊びへと発展しています。運転手の衣裳を身にまといながらなりきり遊ぶ姿はとても微笑ましいです。

子どもたちが何に興味を持っているかを知り、自由な発想を支えていきたいと思っています。

